

## 量子技術の実用化推進ワーキンググループ（準備会合）議事要旨

1. 日時 令和4年10月21日（金） 14:00～15:30
2. 場所 Web 会議（Teams）
3. 出席者（敬称略、順不同）

< 構成員 > ◎主査

- ◎伊藤 公平 慶應義塾塾長  
岡田 俊輔 一般社団法人量子技術による新産業創出協議会実行委員長  
川畑 史郎 産業技術総合研究所新原理コンピューティング研究センター副研究センター長  
佐藤 信太郎 富士通株式会社富士通研究所量子研究所長  
嶋田 義皓 国立研究開発法人科学技術振興機構研究開発戦略センターフェロー  
鈴木 教洋 株式会社日立製作所執行役常務CTO兼研究開発グループ長  
寒川 哲臣 日本電信電話株式会社先端技術総合研究所基礎・先端研究プリンシパル  
松岡 智代 株式会社QunaSysCOO  
山田 昭雄 日本電気株式会社執行役員  
萬 伸一 国立研究開発法人理化学研究所量子コンピュータ研究センター副センター長

< 政府関係者（関係行政機関の職員） >

- 高原 勇 内閣府科学技術・イノベーション推進事務局審議官  
増田幸一郎 内閣府科学技術・イノベーション推進事務局政策企画調査官  
小林 健太 金融庁総合政策局総合政策課課長補佐（代理出席）  
武馬 慎 総務省国際戦略局技術政策課研究推進室長  
石川 勝利 外務省総合外交政策局軍縮不拡散・科学部国際科学協力室長  
迫田 健吉 文部科学省研究振興局量子研究推進室長  
高江 慎一 厚生労働省大臣官房厚生科学課研究企画官  
堀部 雅弘 経済産業省産業技術環境局研究開発課研究開発調整官  
川村 竜児 国土交通省総合政策局技術政策課技術開発推進室長  
加藤 学 環境省大臣官房総合政策課環境研究技術室長  
大崎 馨 防衛装備庁技術戦略部技術戦略課技術企画室長

< 事務局 >

内閣府科学技術・イノベーション推進事務局

### 4. 議事次第

1. 構成員による自己紹介及び問題意識や未来社会像に対する意見等
2. 量子技術・産業の国内外の最新動向について
  - (1) 研究開発の動向について  
○嶋田 義皓 科学技術振興機構 研究開発戦略センター フェロー
  - (2) 産業の動向について  
○岡田 俊輔 量子技術による新産業創出協議会(Q-STAR) 実行委員長
3. 量子技術の実用化推進ワーキンググループの論点と進め方
4. その他

## 5. 配布資料

- 資料 2-1 量子技術の研究開発 (JST 嶋田フェロー資料)
- 資料 2-2 量子技術の産業動向 (Q-STAR 岡田実行委員長資料)
- 資料 3-1 量子技術の実用化推進ワーキンググループの論点
- 資料 3-2 量子技術の実用化推進ワーキンググループの進め方
- 資料 4 量子技術の実用化推進ワーキンググループのスケジュール
- 参考資料 1 量子技術の実用化推進ワーキンググループの設置
- 参考資料 2 量子技術の実用化推進ワーキンググループの概要

## 6. 議事要旨

議事 1 構成員による自己紹介及び問題意識や未来社会像に対する意見等

構成員が一人ずつ自己紹介し、問題意識や未来社会像に対する意見等を発言した。

議事 2 (1) 量子技術・産業の国内外の最新動向について (研究開発の動向について)

JST の嶋田フェローが、資料 2-1 を用いて、国内外の量子技術に関する研究開発動向等について説明した。

議事 2 (2) 量子技術・産業の国内外の最新動向について (産業の動向について)

Q-STAR の岡田実行委員長が、資料 2-2 を用いて、国内外の量子技術に関する産業動向等について説明した。

議事 3 量子技術の実用化推進ワーキンググループの論点と進め方

事務局が、資料 3-1、3-2 を用いて、本ワーキンググループで議論すべき論点や進め方等を説明した。

議事 4 その他

事務局が、資料 4 を用いて、本会議のスケジュール案を説明した。

以上